



『プロボノ』で“領収書的”社会貢献☆

最近、時おりマスコミでも耳にする「プロボノ」という言葉、ご存知ですか？ 語源は「公共益のために」というラテン語だとか。

「プロボノ」とは、仕事の専門知識やスキルをボランティアとして提供する、社会貢献活動のことです。

IT関連だったり、金融や研究、広告といった、これまでボランティアとは縁のなさそうに思われていたジャンルの人たちが、どんどん参加し始めています。その理由に「直接自分の仕事の“手応え”を感じられるから」と答える人も多いそうです。

ボランティアすることに何かを求め過ぎると、まるで“請求書”を発行しているようで、相手の迷惑になることも多々あります。

「プロボノ」で、無理せず自分の専門スキルを社会に役立てると、相手からの“感謝”に加え、自分の仕事への“手応え”まで“領収書的”にもらえちゃう。

そんな新しい社会貢献の形「プロボノ」…知ってていいかも☆

さぼ忍ず

THE COMIC

ichiyu kokoro

第8回

by 一由ココロ

目的



N助

O助



Pター



ま、作りゃイってもんじゃないし



ふうん、あなたたちは、それぞれノイラワチユナヒ共和国の人たちと友好を深める団体の会員なのね。え？ 違う？ 同じ団体じゃないの？ あら、全く違うって？

え〜と、左の人が「ノイラワチユナヒ友好親善の会」で、右の人が「ノイラワチユナヒ友好ネット」の方なのね。

へえ〜、なんだかよく分かんないけど、それで何が違うの？ 「友好親善の会」は共和国の民家にショートステイして現地の自然や文化の問題を実践的に考えるわけね。それで「ネット」は日本からツアーを組んで現地を訪問し、現地の暮らしをまず知る活動に比重を置いているワケね。

確かに少し立ち位置は違うみたいだけど、でも、私から見れば、どちらもノイラワチユナヒ共和国の生活を考えようとしているわけだから、同じじゃないの？

少なくとも、お互いにそんな剣幕でののしりあうような違いじゃないわよ。

あらあら、また熱くなって…ほんっとに、どうしようもない人たちね…
いい加減にしろや、コラ!!

一つ一つの市民活動はまだまだ小さくて弱く、連携して力を合わせていかなければならないのに、そんなことでいがみ合ってどうするの!

一生懸命なのは分かるし、自分たちの活動への自負があるのも分かるけど、もっと大局を見なきゃダメよ。

あなたたちの活動がいったい何のためか？ それを見失って縄張り意識と自尊心ばかりが膨張するから、小さな事でいがみ合うのよ。

そんな活動に、新しい人を巻き込むことはできないわ。いいこと?

◆はるみママからひと言

鳥になって、森を見なさい

広報サポーター募集中!!

★簡単なお手伝いでもOK。個性的な仲間が揃ってます☆
詳しくは、(特)さばえNPOサポート事務局・松田まで。

編集・お問い合わせ

非特定営利活動法人 さばえNPOサポート

〒916-0024

福井県鯖江市長泉寺町1丁目9-20 鯖江市市民活動交流センター内

TEL: 0778-54-7055 FAX: 0778-54-7058

[Eメール] info@sabae-npo.org

[ホームページ] http://www.sabae-npo.org